

請願第 6 号 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書提出  
についての請願

採択の討論

20番 森本典夫 議員

「請願第6号に対する討論を行います。

請願第6号は、年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書提出  
についての請願です。

この請願の趣旨は、物価が上がればそれに応じて年金を引き上げ、その価値を維持  
する「物価スライド」の制度があります。

しかし、その制度を骨抜きにして年金を下げる「マクロ経済スライド」が本格的に  
動き始めようとしております。

政府・厚生労働省は、この仕組みを使ってこの先30年間年金を下げ続けることを  
予定しております。

また、この仕組みをもっと厳しいものに改める見直しさえ進めようとしています。

年金の引き下げは安倍首相のいう「経済の好循環」にも逆行し、地域経済と地方財  
政にも大きな打撃を与えます、と指摘しています。

また、年金削減は、高齢者だけの問題ではありません。低賃金と非正規労働者が増  
えるなか、年収200万円以下のワーキングプアが1,100万人を超えました。将  
来の高齢者の年金も心配です。日本の高齢期の生活保障である年金制度が崩壊しかね  
ません。

市民の代表としての我々市議会議員は、年金削減から井原市民、ひいては日本国民  
の生活を守るという立場に立ち切るべきだと考えます。

したがって、年金削減によって大きな影響を受ける高齢者や低賃金生活者を守るた  
めのこの請願は採択すべきであると考えます。

以上で請願第6号に対する討論を終わります。」

不採択の討論

2番 河合謙治 議員

「先ほど委員長が報告された請願第6号の不採択に賛成の立場から発言いたします。

年金削減の取りやめについては、少子高齢化が進む中で、年金の持続性を高めるた  
めにも、年金のマクロ経済スライドをデフレ下でも実施できるようにすべきであり、

年金の保険料負担の公平化だけでなく、給付の面でも高い年金を給付されている方や高所得者の年金を見直す必要があると考えます。

また、最低保障年金制度については、ある程度の抑制を図るためにも、名目下限を設定すべきではありますが、経済が順調に推移すれば、現行の仕組みで十分なので、デフレ脱却への取り組みが必要であると考えます。」